

令和4年2月10日

橋本市長 平木哲朗 様

橋本市議会災害対策会議
代表 小林 弘

新型コロナウイルス感染症対策に関する
橋本市議会からの提言書 (第3回)

提言事項

1. ワクチン接種について

- (1) 3回目のワクチン接種が、最大限迅速に行われるようあらゆる手立てを尽くし、接種体制の確保に取り組むこと。
- (2) ワクチンのブースター接種（交接種に関するものを含む）及び若年層の接種について、個々の判断に役立つ情報発信に努めること。

2. 情報の共有について

- (1) 教育機関・市民病院など市の関連施設における感染者並びに感染拡大抑制措置に関する情報共有をすること。
- (2) ワクチン接種状況の定期的な情報共有を行うこと。

3. 事業者・困窮世帯への支援について

- (1) 県へのまん延防止等重点措置も適用されるなか、飲食業者に限らず、市内事業者は依然厳しい状況にある。また、非課税世帯などは物価の上昇も相まって生活が困窮しているなか、国からの10万円の給付についても未だ支給には至っていない。このような状況を踏まえ、市独自の支援策を検討すること。
- (2) まん延防止等重点措置による飲食店等への営業時間短縮要請やその他コロナ禍により売上が減少したことに対する市の支援策の周知を十分に行うこと。
- (3) 対象期間が今年度末まで延長された「小学校休業等対応助成金」の周知を徹底するとともに相談窓口を設置すること。

4. その他の項目について

- (1) 児童生徒の学びを保証するとともに、コロナ禍でストレスを抱える児童生徒のために、スクールカウンセラーの増員等相談体制を拡充し、心のケアに努めること。
- (2) 学校、保育園、こども園、学童保育などに二酸化炭素計測器など新型コロナ感染症の拡大を防止するための機器を購入して配布すること。
- (3) 公園等屋外施設が閉鎖されたことに伴う市民のストレスを考慮し、比較的三密を避けることができる公園等屋外施設の閉鎖を解除すること。
- (4) 病床不足や濃厚接触による自宅待機者に迅速に食料支援を行うなど放置されない体制を県と協力して構築すること。
- (5) 市民病院の入院患者と面会希望者がオンラインで面会できるようにすること。
- (6) 全面休館中の図書館においても、電話などで予約することで貸し出しができるように対応すること。

以上、市長におかれましては、リーダーシップとスピード感をもって対応にあたられるよう強く要望します。